

CTR ソフトウェアにおける j a v a 環境

2018年11月13日

HepeTex Office

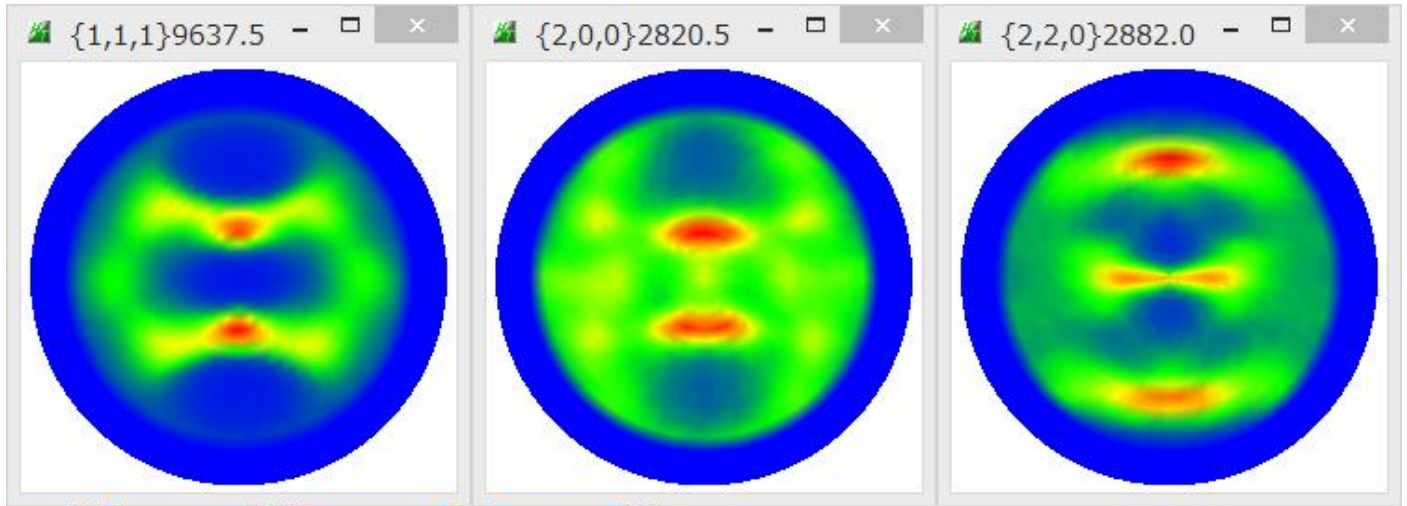
概要

CTRソフトウェアは `java` の環境下で動作し、更に極点図、結晶方位図、逆極点図は `java 3D` を使用しています。

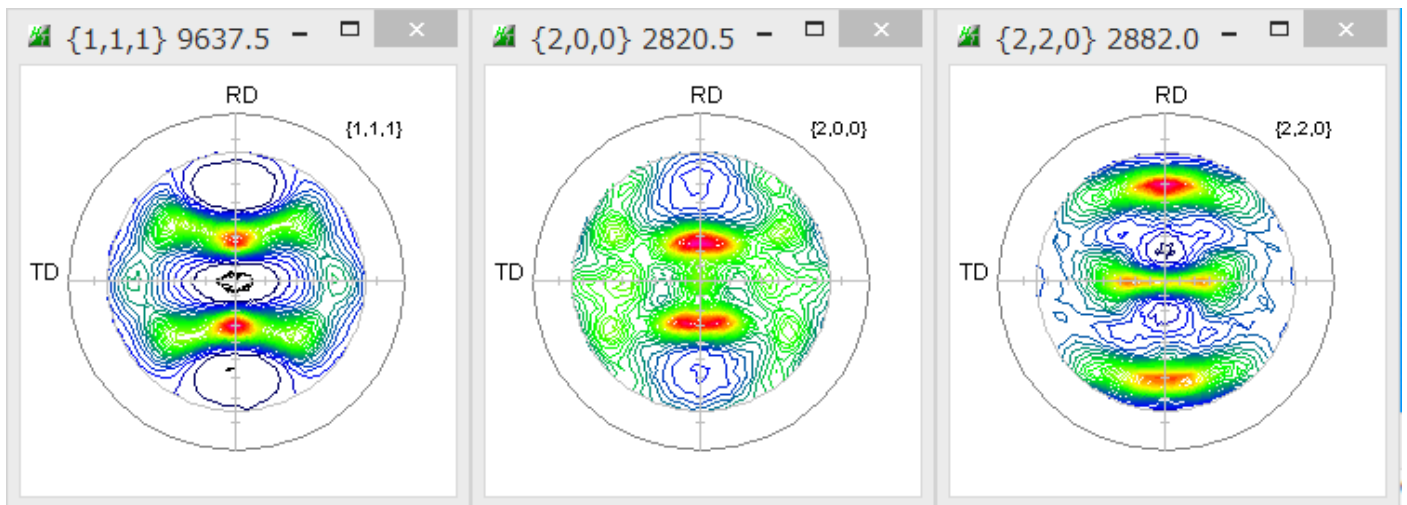
極点図や逆極点図は等高線でも表示できますが、結晶方位図は `java 3D` のみで表示しています。

`java` は 32 Bit, 64 bit の `runtime` がありますが、`java 3D` は 32 bit のみで動作します。

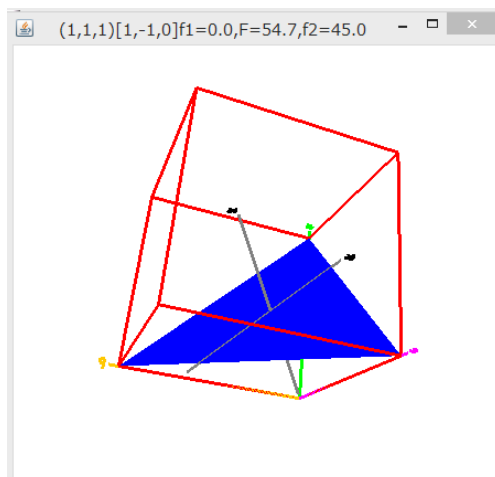
極点図表示 - 3D表示



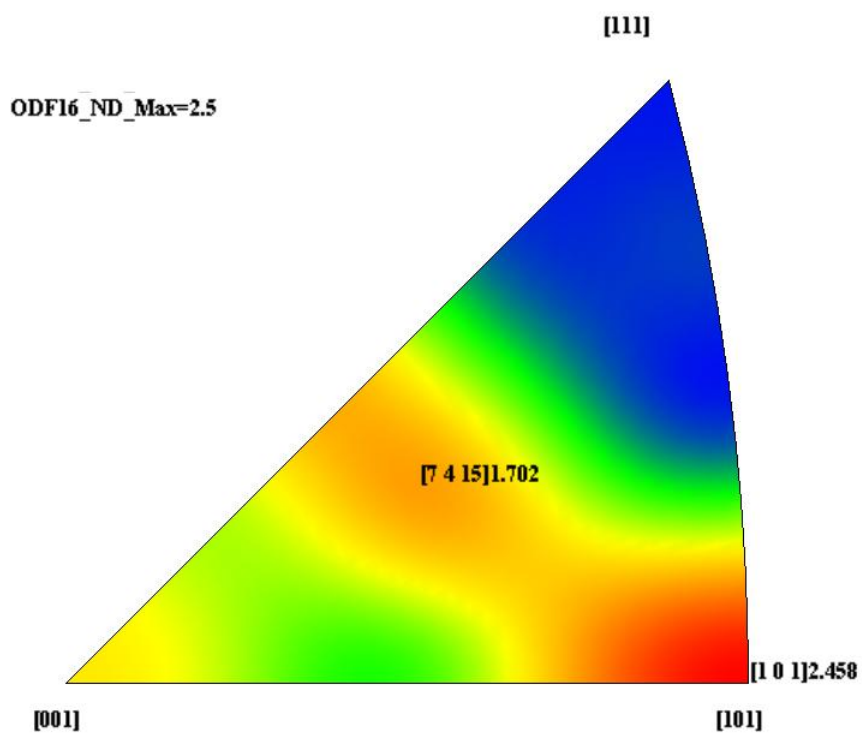
極点図 - 等高線表示



結晶方位図

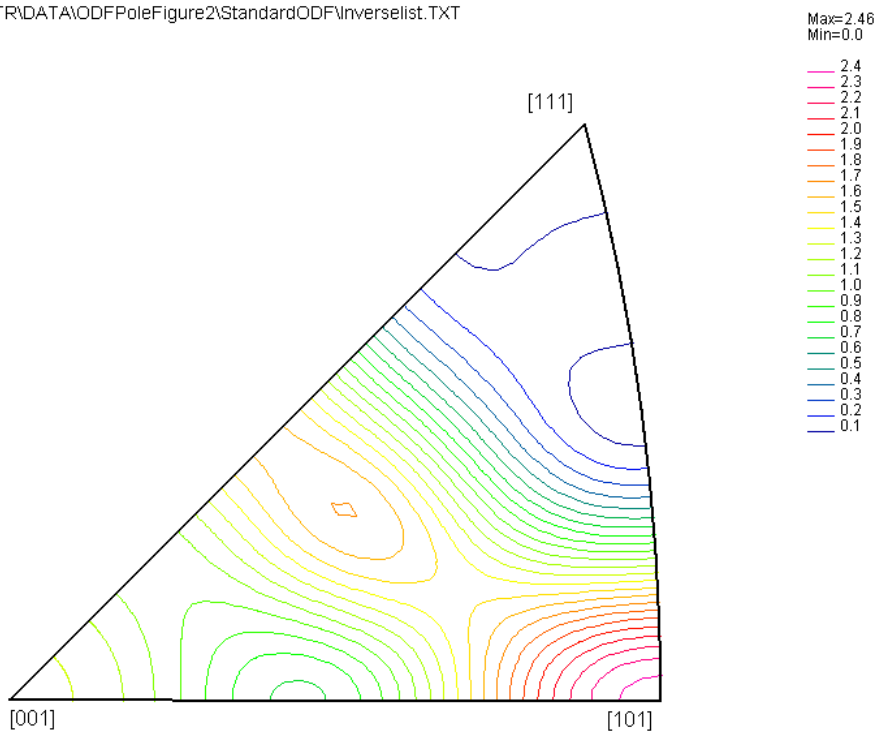


逆極点图— 3 D



逆極点图—等高線

C:\CTR\DATA\ODFPoleFigure2\StandardODF\Inverselist.TXT
ND



3D表示を行う場合

32bitのruntimeを使用する。

javaのruntimeをインストール後java3Dをインストールする。

java3Dは最終形でバージョンアップはありませんが、ジャヴァのruntimeは頻繁にバージョンアップがあります。もしjavaのruntimeのバージョンアップが行われると3D表示が出来なくなります。

java3Dをアンインストール後、再度java3Dをインストールしてください。

java3Dは、C:\¥CTR¥javazip に保存されています。

CTRソフトウェアを手順書に従ってインストールしても3D表示ができない場合

特にXPの場合、ハードウェアアクセラレータを最大にしてください。

